本物の旅。かごしま

―大型タイアップキャンペーンを継続展開―

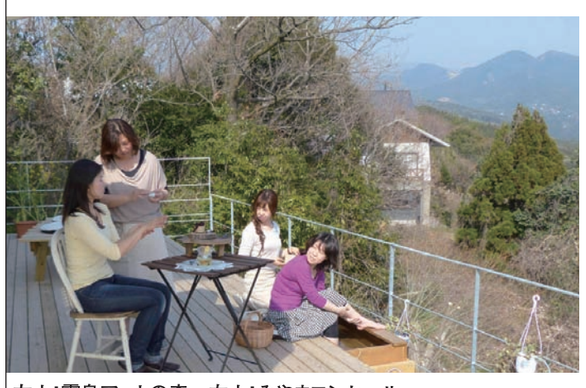
鹿児島県は、11年3月の九州新幹線全線開業と山陽・九州新幹線相互直通運転にあわせて、さまざまな施策やキャンペーンなどの取り組みによって観光客が増加。とくにJR西日本、JR九州と大手旅行会社と連携した事業では大きな成果を挙げている。今回の特集では、13年度の鹿児島県の取り組みや注目の観光情報を紹介する。

13年度の鹿児島観光

13年度は、2018年の明治維新150周年に向けた新たな取り組みがスタートする。さらに2012年にJR西日本と共同で始めた「霧島アートな旅」キャンペーン（3月20日～6月30日）、関西と中国地域の大学生による鹿児島の新たな旅を発見する「鹿児島カレッジ」は、13年度も実施される。4月からは、JR西日本と九州5県の新キャンペーンのリメンバー九州キャンペーンが始まる。またJR九州とは、プロモーション「鹿児島は今、沸いています！～「ゆ活」プロジェクト、はじまる。～」が上期に展開される。

事業内容と展開

今年度は九州新幹線全線開業効果も落ち着いてきたことから、全国の注目を維持するために、鹿児島県観光の底上げ、認知度向上、主要観光地のブランド力の活用に加え、新たな目玉として、2018年の明治維新150周年を据える。中心となる方策は、①旅行需要を喚起する観光素材の創出②戦略的な情報発信③効果的なプロモーション展開。一般事業として、旅行エージェント対策、広域連携による観光周遊ルートづくり、魅力発信を行う。重点戦略事業の「本物の旅かごしま誘客拡大キャンペーン事業」で、明治維新150周年の取り組み、テーマキャンペーン、エリアキャンペーンなどを行う。13年度は薩英戦争150周年として、関連の情報を発信して鹿児島県の知名度アップを図る。2015年には、九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録の期待が高まっており、実現すれば明治維新150周年に向けて大きな追い風になる。また周年でいえば、旅行商品のキャッチとして見逃せないのが離島エリア。13年度は屋久島が世界自然遺産登録20周年、奄美群島が本土復帰60周年。関連の行事やイベントも予定されている。



左上：霧島アートの森　右上：みやまコンセール
左下：霧島の杜　右下：WaiWaiアトリエ」と「きままなキッチン」

整備された大野岳

周遊観光の拡大に

鹿児島県観光連盟は、12年度途中から、九州新幹線全線開業と山陽・九州新幹線相互直通運転で増加した観光客、とくに指宿、霧島地区に集中している新幹線効果を全県に広げる取り組みをスタートさせている。鹿児島市内や指宿、霧島地域を拠点地域として、周辺地域を周遊させることで、拠点地域には、連泊やリピーター客の獲得を、周辺地域には、拠点地域に訪れた観光客がやってくることで、観光振興や地域活性化を図る。モデルとして、指宿地区が先行している。このコースは、指宿を拠点に、3コースを設定。ひとつめは南薩地域で、市町村単位で日本一の生産量を誇る茶畑や新幹線開業で脚光浴びている釜蓋神社、番所鼻、整備を終えたばかりの新しい観光スポット大野岳などを巡る。対岸の大隅南部は、フェリーを利用して、ミニクルーズや本土最南端の佐多岬などの自然を巡る。屋久島・種子島へは高速艇を利用。世界自然遺産の屋久島、種子島のロケット基地などダイナミックなモデルコースとなっている。今後は、霧島地区でも、湧水やえびの高原、大隅北部を巡るコースを設定する予定。

霧島アートな旅キャンペーンスタート

鹿児島県内の行政や観光関係者でつくる観光かごしま大キャンペーン推進協議会は3月20日からは、JR西日本と共同で、昨年に引き続いて「霧島アートな旅キャンペーン」を6月30日まで開催している。豊かな自然の中で芸術を五感で体感する旅を提案。現代アートの美術館「霧島アートの森」や本格的な音楽ホール「霧島国際音楽ホール」（みやまコンセール）など芸術的要素を持つ観光資源などを活用したキャンペーンで、昨年は、期間中、霧島地区では観光客が大きく伸びたほか、新燃岳の風評被害の払しょくに大きな効果を上げている。

メーンは「霧島アートの森」と「みやまコンセール」

キャンペーンでは、「霧島アートの森」の現代アート、「みやまコンセール」の音楽に加え、霧島温泉郷など

霧島アートな旅CPを JR西日本と共同開催

に展示された芸術作品を鑑賞しながらの散策や、体験プログラム、スイーツなど、霧島エリアに誘客を図る。キャンペーン期間中には、さまざまな特別イベントが開催される。

野外美術館の「霧島アートの森」では、キャンペーン期間中に、園内ツアーを毎週日曜日に実施。野外アートを学芸員の案内でまわる。第2土曜日には、「発見楽しみ工房」開催。現代アート風の作品を制作できる。毎月第1と第3土曜日には、「アート体感ツアー」を実施。霧島アートの森の屋内作品を学芸員が案内。作品鑑賞後、現代アート風の作品制作を行う。

みやまコンセールでは、団体予約を対象にミニコンサートが、休館日（月曜日）以外の平日に実施。みやまコンセールの協力演奏家による鍵盤楽器や管、弦楽器の演奏、歌などを気軽に楽しめるレクチャーコンサートとなっている。

キャンペーン期間中の日曜日にはコンサートの開催が予定されている。「第81回日本音楽コンクール受賞記念演奏会」（4月14日）、「『東儀秀樹』雅楽ワークショップ～あなたも雅楽を体験しませんか～」（5月12日）、「タリス・スコラーズ～ア・カペラのスーパースター～」（6月9日）、「ダニール・トリフォノフピアノ・リサイタル」（6月16日）。

また、霧島温泉旅館協会加盟の宿泊施設の宿泊者と希望者には、霧島九面太鼓や神楽等の演技と演奏を披露する「霧島郷土芸能の夕べ」を5月25日、6月22日に開催。

他にも、キャンペーン期間中、霧島温泉郷などに県内外作家の芸術作品を展示。また芸術があるまちづくりを進めている湧水町では、町内の様々な場所に芸術作品が展示。芸術作品展示は、霧島市のホテルと観光施設などで12カ所、湧水町は公園と道路沿いなど21カ所。

女性向け体験プログラム充実

体験プログラムは、アート体験や女性向けなオシャレなものまでラインアップ。ガーデンリゾートスパ「霧島の杜」では、高級旅館で活躍したエステシャンの施術とスパ、ウッドデッキでの足湯とティータイムなどが満喫できる。キャンペーン期間中は、「セルフエステlecture」を開催。初めての人でも簡単で気軽にできる。セルフエステキット、ドリンク、デザート、足湯つきで1050円。予約が必要。

体験霧島温泉市場の「そば茶房　紗菜花」では、霧島産のそば粉と湧水を使ったそば打ち体験ができる。打ったそばは、持ち帰りや試食が可能。1回6人分で3150円。そば打ちの姿は店外から見学もできる。霧島町蒸留所では、焼酎のオリジナルラベル作成体験ができる。筆やクレヨンなどを使って、本格焼酎風や絵手紙風など焼酎のラベルを作成できる。料金は焼酎代に少しアップの2665円（1800ml）、1332円（720ml）。焼酎造り見学や試飲も可能。キャンペーン期間中は焼酎購入者に「霧島の名水　明るい農村」（2L）がプレゼントされる。

高千穂牧場では、アイスクリーム、ソーセージ、バターの各手づくり体験がキャンペーン期間中割引が受けられる。

霧島高原まほろばの里では、薩摩焼の陶芸や薩摩切子のガラス工芸体験ができる。陶芸体験者には、期間中ミニプレゼントがつく。

アートの似合うショップやカフェが登場

ランチとスイーツの特典が付く施設は、藍染の雑貨を扱う霧島のライフスタイルを提案する「WaiWaiアトリエ」と「きままなキッチン」が新登場。

森の中に建つギャラリーで、たくさんのアートな服や雑貨の並ぶ店内や、屋外で自然に囲まれながら、イタリアンのランチが楽しめる。期間中「陽気なランチ」を注文すると花茶がサービスされる。

みやまコンセール内の「NOAH COFFEE」では、自家焙煎コーヒーと季節のスイーツをセットで提供。

2次アクセス整備

2次アクセスでは、霧島神宮駅と霧島アートの森を往復する便利な「霧島アートバス」が特別に運行。運行日は、キャンペーン期間中の6月30日までの土日祝と4月30日～5月2日。運行区間は、霧島神宮駅～高千穂牧場～霧島神宮～霧島神話の里公園～霧島温泉市場～霧島国際音楽ホール（みやまコンセール）～関平鉱泉販売所～霧島アートの森。

料金は2日乗降自由券700円、1日乗降自由券500円。1回乗車券は300円。

いわさきバスでは、霧島「のったりおりたりマイプラン」を発売。霧島観光に便利な路線バス1日乗り放題のきっぷ。料金は大人1000円、こども500円。

観光タクシー「駅から観タクン鹿児島」では、「龍馬とお龍のハネムーンロードを巡る霧島温泉郷発着コース」「神話の里に広がる雄大な景色を楽しむ霧島神宮駅発着コース」「薩摩の歴史と渓谷の自然に触れる隼人駅発着コース」などが設定されている。

アイスクリーム手作り体験

そば打ち体験

NOAH COFFEE

焼酎ラベル作り

薩摩焼体験

薩摩切子体験

新観光列車“おれんじ食堂”好調

熊本県八代市と鹿児島県川内市を結ぶ第3セクターの肥薩おれんじ鉄道は、3月24日に新しい観光列車「おれんじ食堂」の運行を開始した。運行区間は新八代・八代（熊本県）～川内（鹿児島県）間。新八代と八代間はJR九州の路線。列車デザインは、九州新幹線やJR九州の観光列車を手掛けた水戸岡鋭治氏。ロビーやカフェレストランをイメージしたデザインで、車内に設けられたキッチンから沿線の特産物を使用した料理や飲み物を提供する。車窓の見どころは、袋駅（熊本県）を過ぎると熊本県と鹿児島県の県境の境川を渡り、肥後国と薩摩国の国境の碑を車窓から見ることができる。出水駅周辺では、運が良いと冬季に出水に飛来するツルの姿を見ることもできる。海岸線の絶景では、鹿児島県内では、牛のノ浜駅～薩摩高城の東シナ海。すみっ瀬や人形岩などの海岸の景色を楽しめる。

2両編成で、1号車はダイニングカー。昼食や夕食のメーンディッシュは沿線の提携レストランよりデリバリーされる。

2号車はリビングカーで、テーブル席や半個室20席を設けた。

金、土、日、祝日と春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、冬休みは毎日運行予定。貸切運行も年間38日程度を予定している。運行本数は1日3便。運行時間は1行程新八代～川内、約3時間程度。全席指定の43席。途中下車できる駅舎内では、地域の特産品を販売する市場「おもてなしマルシェ」も開かれる。

料金は1号車（ダイニング・カー）は原則として旅行商品として「運賃、座席指定席料金、飲食付」の飲食パッケージプランのみ。パッケージ料金は大人1万2800円～（小人8200円～）。

2号車（リビングカー）は乗車希望区間の所定の区間運賃に加えて座席指定料金で乗車できる。座席指定料金は大人1400円（小人700円）。また、チャーター料金は29万円～（飲食については別途打合せとなる）。

上期は予約好調で、3便目に余裕がある。上期はチャーターも好調で、下期の予約も順調となっている。

1号車　バーカウンター　キッチン

1号車　車窓を眺めながら食事

おれんじ食堂の外観

指宿でアフター 鹿児島カレッジ

鹿児島カレッジは、関西と中国地方の6つの大学の学生に新幹線利用して訪れる鹿児島の旅を体験してもらい、学生視点で体験メニューや鹿児島の魅力をソーシャルメディアで情報発信してもらい旅行プランも提案してもらうもの。参加大学は、大阪大学、関西大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸大学、岡山大学、広島経済大学。12年度は春の卒業旅行に一部採用されたほか、次年度の本格採用に期待が掛っている。

指宿市観光協会と鹿児島カレッジに参加した神戸松蔭女子学院大学の責任ゼミの学生が、3月15日～17日にアフター鹿児島カレッジともいえるモニターツアーを実施した。

ツアーのテーマは、「彩」「癒し」。①「グルメ・指宿ならではの食事、旬の野菜を食べよう」②「リゾート温泉・砂むし温泉とアロマや南国植物の組み合わせを楽しむ」③「スポット・神秘的な知林ヶ島に渡って潮風を体感」④「お土産は超貴重・オリビン採取と『道の駅活お海道』で地元の特産品を楽しもう」⑤「歴史・薩摩伝承館にて鹿児島の歴史を学ぶ」大学側の考えるモニターツアーのポイントは2つ。ひとつめは、週末の仕事終わりに気軽に鹿児島旅行が可能で、大型連休を待たないで思いたったら、すぐ向かえること。初日の行程は、新大阪18時22分に乗車し、指宿には24時到着。2つめは、参加者。カレッジに参加した3年生4人と青谷実知代・准教授、青谷ゼミ卒業生のOG2人（24歳）、新婚旅行をしなかった40代の夫婦と新婚旅行が鹿児島だった70代の母親。モニターとして、20代社会人女性で特に25歳までで自分のために使える時間のある層として選んだ。40代夫婦は、新婚旅行としてのモニター。70代の母親は、配偶者に先立たれているのと、普段働いているので外出が少なく、今回モニターツアーでリラックスしてもらうことを考えたという。

学生はモニターツアーの様子をフェイスブックに随時投稿した。

指宿市観光協会では、今回のモニターツアーで、12年度下期に鹿児島県の支援で実施したヘルスツーリズム推進事業の商品化と具現化ができた。指宿温泉といえば、天然砂むし温泉で長く愛されてきている。この砂むしに、アロマや薬草を使用した新砂むし温泉を学生らに試してもらう。また伊豆下田温泉が実施している海洋浴の概念を指宿にも取り入れ、指宿式海洋浴としての展開を検討している。海洋浴は、海辺や海の近くで活動的な体験メニューを行うもので、英語のアクティビティに近いイメージ。浜辺の朝のフラダンス体験の朝フラ、知林ケ島のノルディックウォーキングなどを13年度は「美プロジェクト」として、健康志向より先のビューティー志向まで進化させる。また海洋浴の言葉のイメージに近い部分は、塩化物泉である指宿温泉に入浴するタラソテラピーとして、塩化物泉やタラソテラピー、天然砂むし風呂を提案していく。他にも地域内で、指宿温泉や天然砂むしをガイドできる人材として温泉コンシェルジュ、観光客向けに指宿温泉の知識を修得できた人向けに温泉ソムリエの新設を検討している。

アロマと薬草の新砂むし

鹿児島県出身のAKB48柏木由紀さんを起用

「本物。鹿児島県」定着化事業

13年は、「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を国内外に拡大・定着化させるため、関東、東海地区や台湾、香港などでCM放映やインターネットを活用した情報発信などが行われる。

『本物。鹿児島県』の情報発信と交流人口の更なる拡大に向けて

伊藤　祐一郎
鹿児島県知事

九州新幹線が全線開業し、3月で2周年を迎えました。この間、関西・中国地区を中心として県外から多くの皆様に鹿児島を訪れていただいており、観光やビジネス等において、新幹線を軸とした相互交流が盛んに行われています。鹿児島には、南北600kmにわたり豊かな自然が広がり、桜島や錦江湾をはじめ、南の島々に広がる雄大な景観が楽しめるほか、個性ある歴史・文化、黒豚・黒牛などの多彩な食材に恵まれており、「本物」の素材に触れながら、悠然とした「スローライフ」の旅を満喫いただけるものと思っております。また5年後の平成30年は、明治維新から150年にあたり、維新前夜、幕末激動期の事象がこれから続々と150周年を迎えることから、西郷隆盛や大久保利通など多くの英傑を輩出した鹿児島の歴史や文化にもスポットを当ててまいりたいと考えております。これからも、アジアにおける我が国の南の観光交流拠点として、「おもてなし」の心と「本物。鹿児島県」の多彩な素材に一層磨きをかけてまいります。

問い合わせ先
観光かごしま大キャンペーン推進協議会
鹿児島県観光課
鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1　TEL/099-286-5050　http://www.kagoshima-kankou.com/
（公社）鹿児島県観光連盟
鹿児島県鹿児島市名山町9-1　TEL 099-223-5771　http://www.kagoshima-kankou.com/